

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	03	0401	生活道路整備事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--------------------------------	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

地区要望を踏まえた道路整備

《事業開始の背景》

交通の中心が車となったことにより、道路整備が求められるようになる。

《事業概要》

【24年度】  
 新設改良 (58路線) 現道舗装 (22路線) 側溝整備 (9路線)

【25年度】  
 新設改良 (54路線) 現道舗装 (27路線) 側溝整備 (16路線) 雪寒対策 (3路線)

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 新設改良整備(完成)延長	km	目標	5.0	5.0	2.4
		実績	5.8	4.3	
② 現道舗装整備(完成)延長	km	目標	3.0	3.0	1.5
		実績	4.8	3.7	
③ 側溝整備(完成)延長	km	目標	0.7	1.0	0.9
		実績	1.7	1.1	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	道路課	藤井 善也	574

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	945,728				
財源内訳	国県支出金	325,747			
	地方債	429,400			
	その他	37,831			
	一般財源	152,750			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- **新設改良** 平成25年度事業費 691,103千円  
 54路線 内 新規路線13路線 完了予定路線4路線  
 完成延長 L=4.3km
- **現道舗装** 平成25年度事業費 113,463千円  
 27路線 内 新規路線21路線 完了予定路線9路線  
 完成延長 L=3.7km
- **側溝整備** 平成25年度事業費 102,112千円  
 16路線 内 新規路線11路線 完了予定路線6路線  
 完成延長 L=1.1km
- **雪寒対策** 平成25年度事業費 39,050千円  
 3路線 内 新規路線2路線  
 完成延長 L=0.2km

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	03	0401	生活道路整備事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	2-6	快適で便利な道路網と公共交通体系の構築
目的	地区要望を踏まえた道路整備				
対象	整備が必要な市道、市道利用者（車両、歩行者、沿線住民）				
意図	安全で快適な通行が可能になる。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

【24年度】  
 新設改良（58路線） 現道舗装（22路線） 側溝整備（9路線）

【25年度】  
 新設改良（54路線） 現道舗装（27路線） 側溝整備（16路線） 雪寒対策（3路線）

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態  共催  実行委員会・協議会  事業協力・協定  
 後援・協賛  補助・助成  委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 新設改良事業実施路線	路線	計画	61	54	55
		実績	58	54	
② 現道舗装事業実施路線	路線	計画	24	27	28
		実績	22	27	
③ 側溝整備事業実施路線	路線	計画	8	11	18
		実績	9	16	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 新設改良整備(完成)延長	km	目標	5.0	5.0	2.4
		実績	5.8	4.3	
② 現道舗装整備(完成)延長	km	目標	3.0	3.0	1.5
		実績	4.8	3.7	
③ 側溝整備(完成)延長	km	目標	0.7	1.0	0.9
		実績	1.7	1.1	

要因分析 達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

完成路線数・事業費等を検討し、新規路線数を決定しているため。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？  
 地域住民からは、安全で快適に通行できるよう、道路整備に対する要望が多数寄せられている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市管理道路の整備のため、妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	本事業は、市道の新設改良、現道整備、側溝整備を行なうものであり、整備後は地域要望や道路環境を満足させた水準となることから、更なる向上は難しい。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも問題がある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	市道は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。

《総合評価》…上記評価結果の総括  
 ・道路整備に対する要望が多数寄せられている状況から、今後も継続的な整備が必要である。